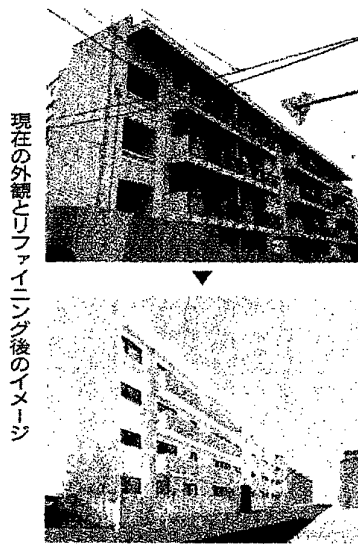


建設通信新聞 (3面)

公務員住宅をリファイニング ミサワホーム、青木茂と提携

2016年9月16日



現在の外観とリファイニング後のイメージ

公務員住宅をリファイニング

ミサワホームは、ストック ユーションとして、リファイする。その初弾として、東京都 関連事業への取り組み強化や ニング建築を提唱する青木茂 渋谷区にある築後50年超の公 不動産価値向上のためのソリ 建築工房と業務提携して、 務員職員住宅をリファイニン

グ建築で再生し賃貸住宅として活用する。

北海道が実施した「旧初台 公宅用地有効活用事業」の公 募型プロポーサルで、ミサワ ホーム不動産を加えた「ミサワ グループ+青木茂建築工 房」が事業者に選定されたも

ミサワホーム、青木茂と提携

の。 提案では渋谷区初台2-9-10の敷地535平方メートル、1964年建設の既存建物（RC造4階建て延べ1017平方メートル）を再利用し、現在の3DK18戸を1LDKを中心とした21戸のプランに一新する。3カ所ある階段室を1カ所にし、新たに内廊下とエレベーターを設置するなど、利便性の向上も図る。建物の大きさや高さを変えないことで周辺環境や街並みにとけ込むほか、建替工事に比べて建築材の大幅削減が可能となる。

今後、道とミサワホームが50年間の定期借地契約を締結、リファイニングの完成時期は2017年10月を予定し、提携する青木茂建築工房に社員を派遣するなど、リファイニング建築は、老朽化した建築物の耐震性能を現行法に適合させた上で既存躯体を再利用し、大胆な意匠の転換や用途変更、内外装の転換などを一新させる建物再生手法。新築と同等の価値を持つ建物として有効活用できると、確認済証や検査済証を拡充していく。

の取得と、第三者機関による現行の耐震基準に基づく耐震診断評定の取得も目指す。 ミサワホームでは、現中期経営計画の中で事業多角化を基本方針に掲げており、業務